

やあ!

TIA news

やあ!特集

「ピース・トーク・マラソン

2003-2007 in 栃木」

ようこそとちぎへ

AFS留学生

世界をペロリ

ペルー料理「アロス・コン・レーチェ」

心に残る私の写真

アメリカ マローンさん一家

国際理解への扉

「よりよい明日を世界の人々と。」

世界のスイーツ

SWEETS

～イギリス編～



イギリスと言えば、やはり紅茶。ミルクティーが正式な飲み方らしい。紅茶に合うものは、やはり焼き菓子。写真はイギリスのチャールズ皇太子の推奨する有機農法(オーガニック)のダッчиーオリジナルというオーガニックブランドのジンジャービスケット。隣のティーカップの絵は、有名なシェークスピアの「夏の夜の夢」を描いたもの。

毎年AFSでは留学生を受け入れていますが、今年も平成18年度のAFS留学生が栃木県にも来ています。今年は5名で、それぞれ、各地区のホストファミリー宅にホームステイしながら、県内の各高校に通学し、日本の高校生と同じように高校生活を送っています。5名を紹介しましょう。



▲鹿沼東小での小学生たちとの交流活動

- ①氏名・愛称 ②出身国 ③生年月日（年齢）
- ④留学先（高校名）・部活名等 ⑤趣味・特技
- ⑥栃木県の印象（人・町の様子）や日本で驚いたこと、やりたいこと。母国との学校との違い。



- ①JOSE DANIEL ALPIZAR SOLANO（ダニエル）
- ②パナマ（生まれはコスタリカ）
- ③1989.11.20（16歳）
- ④県立栃木翔南高校
部活動：サッカー部
- ⑤サッカー
- ⑥人々がいつも忙しそうにしている駅で電車が着くと走り始める。スケジュールのコントロールのプレッシャーがあるのか？不思議な気がする。

足利市でホームステイしているが、町が大きすぎないほど良いサイズなので、人々と知り合いやすい。
足利学校、フラワーパークなどおもしろい場所がある。日本的人はとても親切で、言葉がわからなくとも助けようしてくれる。日本の学校の時間は長すぎる。（パナマでは7:00-2:00）



- ①ANONGPAT UPARANUKROH（ピー）
- ②タイ バンコク市
- ③1990.11.28（16歳）
- ④県立宇都宮女子高校
部活動：英会話部
- ⑤パソコン、音楽（日本の）、映画、料理、友人と話すこと
- ⑥日本の高校は宿題がない。学生もあまり勉強しない。（タイでは夜中まで勉強していた）小学校から女子高だったため、女子高に対してあまり違和感がない。宇都宮はきれいな町、人も親切。でも自転車はすごい。日本でしたいことは、夏に浴衣を着てみたい。あと、日本語が上手になりたい。漢字ができるようになりたい。タイで、中国語を勉強したことがあるが、漢字はやはり難しいと思う。今、学校で書道も学んでいる。



- ①LUIS FELIPE MARQUES（ルイス）
- ②ブラジル カンピーナス市（リオデジャネイロ生まれ）
- ③1988.4.1（18歳）
- ④県立宇都宮北高校
- ⑤読書、テニス、スキー
- ⑥ブラジルは部活がない。ただし、民間のクラブ活動のようなものはある。（英会話、スポーツなど）部活は剣道、テニス、バレーボールに所属してみたが長続きしなかった。学校の授業時間が長い（ブラジルでは午後1時半くらいまで）昼食は共学なのに、男女のグループに別れて食べるのは変だと思った。日本は自転車でどこにでも行けるのは便利だと思った。栃木県の人は困ったとき助けてくれる。夏に富士山に登りたいと思っている。



- ①MATTHEW BLOMFIELD（マティ）
- ②ニュージーランド インビカゲル市
- ③1988.7.17（18歳）
- ④県立宇都宮高校
- ⑤スポーツ全般、友人とゲームを作って遊ぶ。
- ⑥日本は道が狭い。ニュージーランドと比べて草原が少ない。日本は何でも計画を作ってから実行する国。栃木県の人はニュージーランドの人と似ている。今は男子校にいるので、共学の経験をしたいと思っている。（鎌倉で体験通学する予定）日本語を話せるようになりたい。



- ①PATRICK SCHNIDER（パティ）
- ②スイス デューベンドルフ市
- ③1990.7.10（16歳）
- ④県立宇都宮北高校
部活動：吹奏楽部
- ⑤音楽、スキー、クラリネット
- ⑥日本は暑い。宇都宮は大きな町。栃木県の人は親切。スイスと日本はバスルームが違う。スイスと自転車が違う。日本で旅行がしたい。特に京都に行きたい。また、スキーをしたい。

AFSとは？

高校生を中心とする青少年の交換留学で50年以上の歴史を持つ文部科学省所管の団体です。

現在、AFSでは、来年度の留学生のホストファミリーを募集しています。期間は、2007年3月末から2008年2月初めまでで、ホストファミリーの条件は単身でないご家庭で、ボランティアで留学生を受け入れ、食費等をご負担可能なご家庭です。詳しいことは下記事務局までお問い合わせください。

財団法人エイ・エフ・エス日本協会栃木支部 船田千絵
TEL 028-633-7764 FAX 028-633-7240
E-mail c-funada@afs.or.jp

平成18年度「とちぎ留学生奨学金」合格者決定!!

とちぎ留学生奨学金とは…

(財)栃木県国際交流協会が栃木県の補助で行う「とちぎ留学生奨学金」と企業等からの寄付で行う「とちぎ留学生民間奨学金」の2種類があります。ともに学業・人物ともに優秀で、将来本県と経済や文化面での交流など、栃木県と母県との懸け橋になってもらおうという主旨のものです。

今年度のとちぎ留学生奨学金に見事合格された、栃木県内の大学に学ぶ24名の留学生へのガイダンスおよび奨学金交付式が、7月12日(水)にとちぎ国際交流センターで行われた。まず、栃木県や栃木県国際交流協会(TIA)の事業を知つてもらうためのガイダンスが行われ、栃木県国際交流課の栃木県の説明のあと、TIAの地域活動やとちぎ国際交流センターの紹介を行った。

続いて行われた奨学金交付式には、栃木県国際交流協会の海老沼理事長より、一人ひとり奨学金の交付決定通知書が手渡され、県の奨学生として積極的に地域との交流に励んでほしいとのあいさつがあった。その後の懇談会では、各奨学生の自己紹介のあと、自分たちの希望する地域交流計画について、発表する機会があり、意欲的に発表する場面も見られた。

今年度の奨学生となった宇都宮共和大学のハストヤさんは、中国・内モンゴル自治区出身で、音楽を専攻していたということで、小学生たちにぜひモンゴルの音楽や文化を伝えていきたいと交流に意気込んでいた。また、同じく奨学生に選ばれた足利工業大学の張宝さんは、8月にも大学近くの公民館で餃子交流会を開く予定もあり、地域交流に力を注ぎ、中国人の持っている日本のイメージと日本人の持っている中国のイメージの違いを打破し、眞実を若い世代へ伝えたいと語ってくれた。



▲交付式の様子



▲ガイダンスで説明を受ける奨学生たち



▲今回の奨学生のハストヤさんと張宝さん

世界をペロリ

ペルー料理「アロス・コン・レーチェ」

材料(7個分): 米	200g
水	コップ4杯
コンデンスマルク	100g
無糖れん乳	400g
シナモンスティック	1本
グローブ	4本
卵黄	2コ
バター	5g
砂糖	100g
ココナツ、ほし葡萄	20g
シナモンパウダー	10g



今回、料理を作ってくれたのは、ペルーのガブリエラ・ナカムラ・カレさん。今回は南米に広く親しまれているお米で作ったデザートのペルー風です。冷やして食べると更に美味しい。

このコーナーでは世界のおいしい食べ物をレシピ付で紹介します。



▲プリンのような風合いの「アロス・コン・レーチェ」



①お米に水を入れて、シナモンスティックとグローブと一緒に30分くらいお米が花びらのように開くまで煮る。グローブとシナモンは取り出しておく。



②煮立ったら、弱火にし無糖れん乳、コンデンスマルクと砂糖、ココナッツ、レーズンを入れどろどろになるまで混ぜ合わせる。



③できあがったら火を消し、ご飯をさみし、卵黄だけを取り出して少しずつ、お粥を作る感じで混ぜ合わせていく。



④最後にバターを入れ、十分溶かしながら、好みでシナモンパウダーとココナツで飾り付ける。

写真で語る

ピース・トーク・マラソン 2003-2007 in 栃木

～1人ひとりにできること。1人のためにできること～

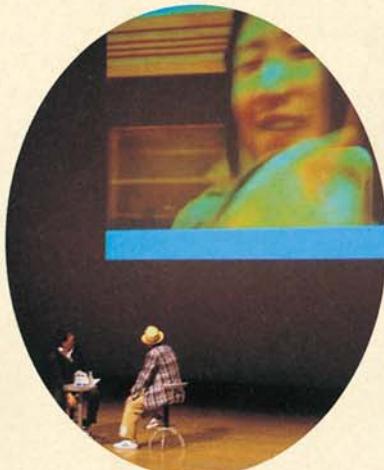
2006年6月3日(土) 13:00から栃木県総合文化センターで、独立行政法人国際協力機構(JICA)、下野新聞社、全国地方新聞社連合会、TIA主催による、「ピース・トーク・マラソン 2003-2007 in 栃木」が開催されました。このイベントは「1人ひとりにできること。1人のためにできること」というテーマで、ピーストーク、ピースメッセージ、パネルディスカッションの三部構成で行われました。今回の特集では、写真と共に、ピース・トーク・マラソンの模様を伝えていきます。

<ピース・トーク>&<ピース・ミュージック>

今回のゲストは元フライングキッズのボーカルで宇都宮市出身のミュージシャンの浜崎貴司さん。最近は「友情のエール」というチャリティCDを出して、売り上げ金でサッカーボールを購入し、アフリカの子どもたちに送るプロジェクトについてお話ししてくださいました。



▲ 歌人 田中章義さんとの「ピース・トーク」



▲ 映像とトークで語る。



▲ 熱唱する浜崎さん

<ピース・メッセージ>

ピースメッセージでは、「あなたの笑顔がみたい」でJICAエッセイコンテストで入賞した周藤有実さんが朗読。また、栃木工業高校の国際ボランティアネットワークのメンバーがタイでのボランティアの車椅子修理についてのレポートを行いました。



▲ 朗読する周藤有実さん



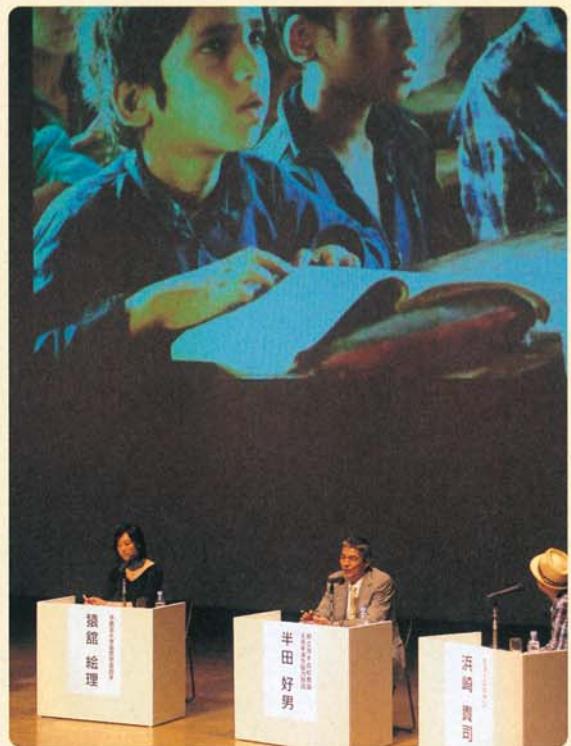
▲ 栃木工業高のタイボランティアの様子を映像と共に報告

<ピース・トーク>&<ピース・ミュージック>

アジア学院校長の野崎さん、宇都宮大学国際学部の猿館さん、青年海外協力隊ネパールOBの半田さん、そして浜崎貴司さんが「1人ひとりでできること。1人のためにできること。」をテーマにパネルディスカッションを行いました。



▲パネルディスカッションの会場風景



▲ゲスト 浜崎貴司さんを交えてのパネルディスカッション

<写真展&県内国際交流・協力団体ブース>

このほか一階フロアと二階ロビー入り口には、女優藤原紀香さんのユニセフ親善大使の活動写真やNY在住のジャズミュージシャン渡辺貞夫さんの世界の子どもたちの写真の展示もありました。また、2階ロビーには県内国際交流団体ブースとして、とちぎYMCAの「地雷体験」コーナー、アジア学院の「アジア・アフリカ農村をサポート」、栃木県青年海外協力隊OB会の「ネパール識字教室、グアテマラ布製品FAIR TRADE SHOP」、宇都宮大学タイ語クラスの「タイの子どもたちに絵本を贈ろうプロジェクト」、TIA「クラブ・リセ、とちぎ・モンゴル文庫」の展示や販売等も行われました。



▲YMCA「地震体験コーナー」



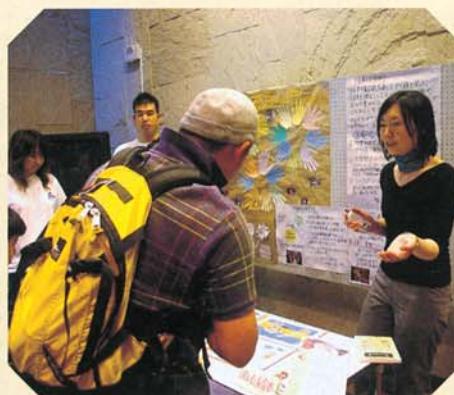
▲写真展の様子（藤原紀香さんがアフガニスタンで撮影）



▲アジア学院「アジア・アフリカ農村をサポート」



▲TIA「クラブ・リセ」の活動の発表



▲宇都宮大学タイ語クラスの「絵本を贈ろうプロジェクト」



▲栃木県青年海外協力隊OB会「ネパール識字教室、グアテマラ布製品FAIR TRADE SHOP」

このコーナーでは、日本や海外で異文化に触れたときの写真を、そのときのエピソードとともに紹介します



▲アメリカのアリゾナの空港で…

これがロウフード(RAW FOOD)!!

「RAW FOOD(ロウ・フード)」とは、加熱しないことによって素材本来のもつビタミン、ミネラル、そして何よりカラダに取って大切な食物酵素をまるごと摂取できる食のスタイルで、現在、ハリウッドのセレブやオリンピックアスリートたちの間で大ブレイク中なのです。(写真はサンタモニカにあるトップレベルのロウフードレストランジュリアノーズのタコス。タコスの皮は紫キャベツを使用してました。)



宿泊施設のティピー

アリゾナ州のセドナにあるエンジェルバレーというワークショップの設備があるところで、ロウ・フードを体験するセミナーに参加しました。写真は、宿泊施設のティピーと呼ばれるインディアンの住居で、セミナー期間中、ここに宿泊し、毎日、ロウ・フードを食べ、ヨガやハイキング等を通して、ロウ・フードの生活を体験しました。後ろに写っているのは、ロウ・フード界のヒーロー的存在のデビッド・ウルフさん。

このコーナーで紹介する写真とエピソードを募集しています。
詳しくは、協会までお問い合わせください。(☎028-621-0777)

情報発信

(国際協力機構JICA事業)



この星のアルバム
つくりませんか



<http://www.jica.go.jp/classroom/>
(過去の入賞作品をご覧になれます)

国際協力フォトコンテスト作品募集

「写真を通して、開発途上国や国際協力への関心と理解を深めていただくこと、またその広報素材の活用することを目的としています」

■募集テーマ

- ①国際協力…日本人と開発途上国の人々との技術協力や交流の現場を撮影した写真。
- ②一般…開発途上国の自然や文化の中で生きる人々を撮影した写真

- 賞 JICA理事長賞 表彰状、賞金10万円他
国際協力賞 表彰状、賞金2万円他
一般賞 表彰状、賞金2万円他

■募集締め切り

平成18年9月14日(木) *当日必着

■応募・問合せ先

〒160-0023
東京都新宿区西新宿6-10-1
日土地西新宿ビル20階
(財)日本国際協力センター
開発業務部内
tel. 03-5322-2552
fax. 03-5322-2590
E-MAIL photo21@jice.org

JICA国際協力中学生・高校生 エッセイコンテスト2006

募集テーマ…世界のみんなが幸せになるために～私が考えること、できること。

例えば「本や新聞やテレビを通して感じた世界と私」「世界のこどもたちはいつも笑っているのだろうか」「あいさつからはじまる国際協力」「わたしのできる身近なボランティア」など、内容は自由です。

■賞 中学生・高校生 各最優秀賞3名、優秀賞4名、審査員特別賞4名ほか賞状、副賞
(約1週間の海外研修旅行)

■応募規定 ○中学生の部 (400字詰原稿用紙3枚以内) ○高校生の部 (同4枚以内)

■募集締め切り 平成18年9月22日(金) *当日消印有効

■応募・問合せ先 〒150-0012東京都渋谷区広尾4-2-24 (社)青年海外協力協会
tel. 03-3406-9151 fax. 03-3406-9160



<http://www.jica.go.jp/classroom/index.html>

新規留学生のためのガイダンス

栃木県の大学などに入学した留学一年生を対象にTIAの事業紹介、生活上のアドバイス、交流ティーパーティなどを5月20日(土)にとちぎ国際交流センターで行われた。

ガイダンスでは先輩留学生から日本人学生との交流の仕方や地域交流に関するアドバイスを受け、その後行われた交流会では、母国の歌や踊りを披露するなどして、盛り上がった。



▲先輩留学生のパネルディスカッション

わいわい地球っ子クラブ～サラーム*イラン～

7月8日(土)にとちぎ国際交流センターでイランをテーマに開催された。参加したのは、地球っ子クラブの小学校3年生～6年生の31名。タイトルの「サラーム」はペルシャ語で「こんにちは」という意味。イラン出身のフェレイドン・カレギヤランさんをゲストにイランの子どもの遊び「アタル・バタル・ツウツウーレ」で遊んだり、イランの国について教わった。締めくくりは、みんなでイランのデザート「ショーレ・ザード」を作って食べた。



▲フェレイドンさんとゲームする子供たち

国際理解への扉/道のへ翻訳翻国

今回のテーマ…「よりよい明日を世界の人々と。」



JICA青年海外協力隊として6月末に世界各地へ出発。7名の隊員は6月22日に、福田富一県知事を表敬訪問し、それぞれの抱負を語ってくれました。

- 富田拓郎さん（パプアニューギニア、理数科教師）
自分のできることをやりぬきたいです。現地でひとつでいいから活動できる場所を作りたいです。
- 石澤宏明さん（バヌアツ、小学校教諭）
自分らしい方法で現地の小学生と一緒に精一杯活動してきます。バヌアツのすばらしさを紹介できるようにたくさん見て、聞いて食べて戻って来てからもがんばります。
- 矢野真澄さん（ウガンダ、村落開発普及員）
村落開発普及員とは「何でも屋さん」ですが、それを逆に活用して現地ではフレキシブルに活動したいと思います。スト

Club lycée クラブ・リセ

「フランス人はなぜデモをするのか？」

～CPE（初期雇用契約）問題で揺れたフランス～

高校生のための国際理解クラブが5月28日(日)にとちぎ国際交流センターで行われた。3月下旬から4月上旬にかけてフランス全土を揺るがしたCPE法案に対するデモは、日本でもマスコミで取り上げられ、話題になったが、フランスの国際交流員ロマンさんをゲストに賛成、反対の意見が交わされた。



▲説明するロマンさん

国際理解教育ファシリテーター養成講座

国際理解を深めるための授業やプログラムを進めるファシリテーター（進行役・プログラムの促進者）を育成する講座が7月1日(土)、2日(日)、22日(土)、23日(日)に大田原市で行われた。講師はグローバル教育などで活躍の桜井高志氏。12月には再び同じメンバーで集り、実践プログラムの報告を行う予定となっている。



▲真剣な受講生たち

リートチルドレンの問題へ取り組むことが任務ですが、子どもたちが安全に暮らせ、自由に学べる場を作るきっかけになればと思います。

●佐山桂子（ネパール、小学校教諭）

カトマンズの小学校でネパールの先生と一緒に算数を教える予定です。教えるのではなく勉強させていただくという気持ちで自分にできることから精一杯頑張りたいと思います。

●小菅寿子（ホンジュラス、養護）

“いつも明るく前向きに”をモットーに頑張りたいと思います。

●大森千春（中華人民共和国、音楽）

笑顔を忘れず中国の大地のような大きな心で活動に取り組んでいきたいと思います。

●森戸小夜里（ザンビア、養護）

現地の人々と楽しく元気に過ごしてきたいと思います。ザンビアで出会う人の温かい気持ちを大切にしたいと思います。

皆さんも自分にできることを探してみませんか？JICAボランティア18年度秋募集は10月1日～11月10日、県内募集説明会は10月1日にTIAで、10月21日に足利市民会館で行う予定です。どなたでも参加自由!!お待ちしております。

JICA栃木デスク：松島愛実

KEMUCO商楽

販売管理システム

<機能紹介>

- ・受注管理
- ・在庫管理
- ・売上管理
- ・請求管理
- ・発注管理
- ・入金管理
- ・仕入管理
- ・売掛管理
- ・物流管理
- ・買掛管理

CTI等、サブシステムとの連携可能！

お客様にあわせたカスタマイズも可能！

株式会社 ケイエムシー

TEL:028-632-5111 FAX:028-633-7269

※掲載広告を募集しています。詳しくは協会までお問い合わせ下さい。

PAPER INTERNET CD DVD FILM TV VIDEO

You can select from some Media.



株式会社 松井ピ・テ・オ・印刷

本社／〒321-0904
栃木県宇都宮市隅東五丁目9番21号
URL: <http://www.pto.co.jp/pto/>
E-mail: s@pto.co.jp
tel. 028(662)2511(代)
fax. 028(662)4278



TIA Information Corner

TIAの国際理解クラブ 会員大募集!!

高校生のための

● Club lycée

参加者からのアイデア大歓迎!
国際的視野を身につけよう!!

活動内容 参加型セミナー、外国人との交流など

年会費 無料

小学3~6年生のための

●わいわい地球っ子クラブ

同じ地球で生活する仲間として、一緒に世界を学ぼう!!

活動内容 ゲーム、料理、工作、外国人との交流など

活動日 9/9(土)、12/9(土)、3/10(土)

年会費 1,000円

お問合せ 財團法人栃木県国際交流協会

☎028-621-0777

栃木県国際交流協会 事業案内 Tochigi International Association(TIA)

～とちぎ国際交流センターの交流ラウンジ・図書閲覧室は
どなたでも気軽にご利用できます～

■相談事業

在県外国人をはじめ県民の皆さまの国際交流・国際協力に関する相談に専門の相談員が
応対

■機関紙の発行・情報提供

TIAニュース「やあ！」や在県外国人向け外国語情報紙の発行
とちぎ国際交流センター内には情報交換のためのメッセージボードの設置

■各種イベント・講演会

国際交流促進や国際協力意識高揚を目的とした各種イベントや講演会の実施

■TIA協力者バンク

ホストファミリーバンク、インストラクターバンク、トランスレーター銀行の運営

■とちぎコミュニケーションネットワーク（TCN）

在県外国人のネットワーク。イベント等の情報提供、国際理解講座等への協力

*この他さまざまな事業を行っておりますので、お気軽にお問合せください。

*とちぎ国際交流センターの交流ラウンジ・図書閲覧室はどなたでも気軽にご利用できます。会議室等の施設利用についてはご相談ください。

新規賛助会員のご紹介

団体：栃木県海外移住家族会様
～ご入会ありがとうございます～

財団法人栃木県国際交流協会は、特定公益増進法人（寄付金の損金算入等の課税特別措置）の認定を受けています。当協会の事業にご賛同くださる各企業、団体等からのご出捐をお願いいたします。

〈編集後記〉

今回、AFSの留学生を取材しましたが、その中でタイの留学生のピーちゃんは、山ピーことNEWSの山下智久君との期間限定で結成するユニット「KITTY GYM」のタイ人のメンバーと同級生だと…。

新たな発見 ブラジル・エコ・ツアー

日本列島が
すっぽり入る大湿帯「パンタナル」
釣、動物観察など7、8月が最適



ちらちらと可憐に飛ぶ
ニンファディウム カイカエ

ツニブラトラベル株式会社



東京都中央区八重洲2-7-7旭ビル〒104-0028
Tel 03-3272-2865 Fax 03-3271-5319
E-mail sato@tunibra.co.jp
<http://www.tunibra.co.jp>

大阪・名古屋・浜松
サンパウロ・リオデジャネイロ・イグアス・ペレン・マナウス
東京都知事登録旅行事業 3-3906 日本旅行業協会正会員

TIA ご案内図



編集・発行
住 所 財団法人栃木県国際交流協会
〒320-0033 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内
TEL 028-621-0777 (代表) 028-627-3399 (相談専用)
FAX 028-621-0951
業務時間 8:30~17:15
休 館 日 日曜・月曜・祝祭日及び12月29日から1月3日